

なら歯と口腔の健康づくり計画の
指標の最新値及び
市町村別データ等について

なら歯と口腔の健康づくり計画の指標（最新値の状況）

No.	種類	指標 (※は、なら健康長寿基本計画における重点健康指標)	計画策定時の値 出典	前年度の値 (調査時点) 出典	現状値 (調査時点) 出典	前年度との比較	目標値 (H34, 考え方)
1	乳幼児期・妊婦	むし歯（う蝕）の無い3歳児の割合	76.1% (H23) ※1	78.0% (H24) ※2	80.2% ☀️ (H25) ※2	2.2ポイント増加 ☀️	90.0%、現状値が国と同程度であり、国目標値と一致させる。 (国：77.1%→90%)
2		不正咬合等が認められる3歳児の割合	12.6% (H23) ※1	13.3% (H24) ※2	12.2% ☀️ (H25) ※2	1.1ポイント減少 ☀️	12.0%、過去10年(H13～22)の平均(13.3%)から10%減を目指す。
3		むし歯（う蝕）の無い3歳児の割合が80%以上である市町村数	14市町村 (H23) ※1	14市町村 (H24) ※2	20市町村 ☀️ (H25) ※2	6市町村増加 ☀️	21市町村、H17～23の傾向からH34の予想値を推計。
4		※ 妊婦に対する歯科口腔保健指導等を実施する市町村数	17市町村 (H22) ※1	24市町村 (H25) ※3	25市町村 ☀️ (H25) ※6	1市町村増加 ☀️	27市町村、年に1市町村ずつ増やすことを目指す。
5	少年期	むし歯（う蝕）の無い12歳児の割合	56.2% (H23) ※4	60.4% (H25) ※4	59.6% ☀️ (H26) ※4	0.8ポイント減少 ☁️	65.0%、現状値が国と同程度であり、国目標値と一致させる。 (国：54.6%→65%)
6		12歳児で歯肉に炎症所見がある人の割合	今後把握	17.4% (H25) ※4	17.5% (H26) ※4	0.1ポイント増加 ☁️	今後設定
7		12歳児の平均むし歯（う蝕）本数が1本未満である市町村数	17市町村 (H23) ※4	19市町村 (H25) ※4	23市町村 ☀️ (H26) ※4	4市町村増加 ☀️	23市町村、国と同様約6割の達成を目指す。 (国：7都道府県→28都道府県)
8		小学校での歯科口腔保健に関する集団指導の実施状況を把握している市町村数	19市町村 (H23) ※5	20市町村 (H24) ※6	21市町村 ☀️ (H25) ※6	1市町村増加 ☀️	29市町村、年に1市町村ずつ増やすことを目指す。
9		中学校での歯科口腔保健に関する集団指導の実施状況を把握している市町村数	9市村 (H23) ※5	7市村 (H24) ※6	9市町村 (H25) ※6	2市町村増加 ☀️	19市町村、年に1市町村ずつ増やすことを目指す。
10	青年期・壮年期	※ 歯科医師による定期的なチェック（1年に1回）を受けている人の割合（20歳以上）	男性:33.0% 女性:39.6% (H23) ※7	男性:35.2% 女性:44.3% (H25) ※7	男性:38.2% ☀️ 女性:43.4% ☀️ (H26) ※7	男性:3.0ポイント増加 ☀️ 女性:0.9ポイント減少 ☁️	男性：50.0% 女性：50.0% 現状から約10ポイント増を目指す。
11		20歳代で歯肉に炎症所見がある人の割合	27.1% (H24) ※7	30.2% (H25) ※7	29.5% ☁️ (H26) ※7	0.7ポイント減少 ☀️	24.4%、現状から10%減を目指す。
12		40歳で28本以上の自分の歯がある人の割合	90.2% (H23) ※7	82.9% (H25) ※7	85.1% ☁️ (H26) ※7	2.2ポイント増加 ☀️	現状維持、国目標値（75%）を既に達成していることから現状を維持する。
13		60歳で24本以上の自分の歯がある人の割合	67.4% (H23) ※8	70.3% (H25) ※7	72.1% ☀️ (H26) ※7	1.8ポイント増加 ☀️	75.0%、H19～23の傾向からH34の予想値を推計。
14		40歳で進行した歯周炎を有する人の割合	42.7% (H23) ※9	41.5% (H24) ※9	45.6% ☁️ (H25) ※9	4.1ポイント増加 ☁️	30.0%、国と同様12ポイントの減少を目指す。 (国：37.3%→25%)
15		60歳で進行した歯周炎を有する人の割合	56.9% (H23) ※9	50.4% (H24) ※9	58.5% ☁️ (H25) ※9	8.1ポイント増加 ☁️	45.0%、現状値が国と同程度であり、国目標値と一致させる。 (国：54.7%→45%)

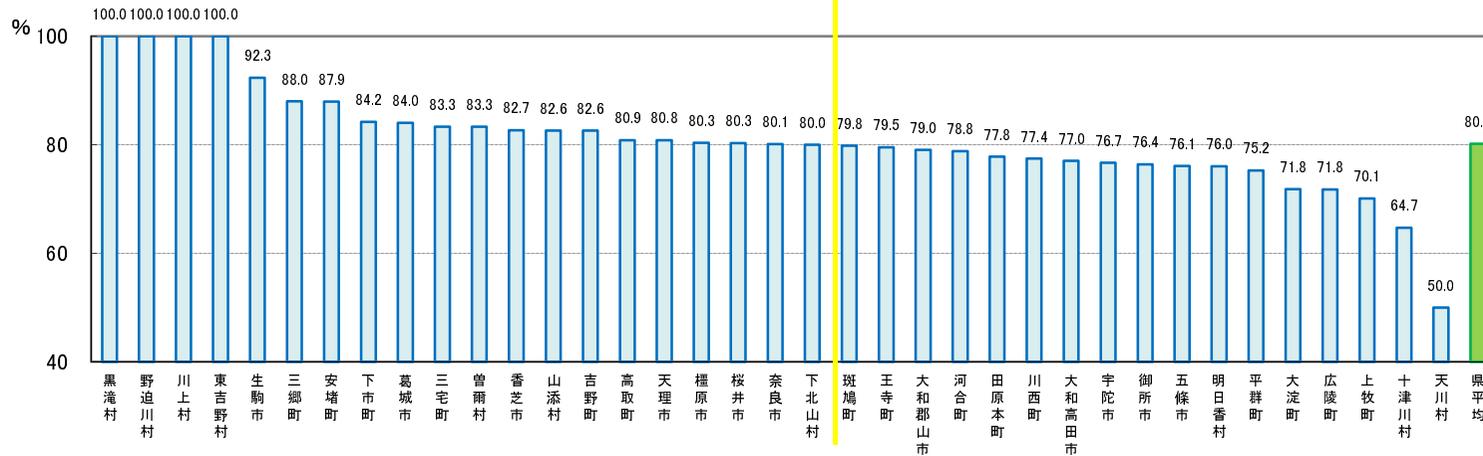
なら歯と口腔の健康づくり計画の指標（最新値の状況）

No.	種類	指標 (※は、なら健康長寿基本計画における重点健康指標)	計画策定時の値 出典	前年度の値 (調査時点) 出典	現状値 (調査時点) 出典	前年度との比較	目標値 (H34, 考え方)	
16	青年期・壮年期	40歳で未処置の歯を有する人の割合	40.7% (H23) ※9	39.2% (H24) ※9	38.9% ☀️ (H25) ※9	0.3ポイント減少 ☀️	10.0%, 現状値が国と同程度であり、国目標値と一致させる。 (国: 40.3%→10%)	
17		60歳で未処置の歯を有する人の割合	31.9% (H23) ※9	33.1% (H24) ※9	30.4% ☀️ (H25) ※9	2.7ポイント減少 ☀️	10.0%, 現状値が国と同程度であり、国目標値と一致させる。 (国: 37.6%→10%)	
18		60歳代で咀嚼が良好な人の割合	91.6% (H23) ※7	80.3% (H25) ※7	81.7% ☁️ (H26) ※7	1.4ポイント増加 ☀️	現状維持, 国目標値 (80%) を既に達成していることから現状を維持する。	
19		時間をかけてよく噛んで (20~30回) 食べる人の割合	25.1% (H22) ※10	19.6% (H25) ※7	19.7% ☁️ (H26) ※7	0.1ポイント増加 ☀️	33.0%(H28), 第2期奈良県食育推進計画	
20	高齢期	※ 80歳で20本以上の自分の歯がある人の割合	43.3% (H23) ※8	38.2% (H25) ※7	38.3% ☁️ (H26) ※7	0.1ポイント増加 ☀️	55.0%, 現状から約10ポイント増を目指す。	
21		1日2回以上歯みがきを行い、毎年歯科医師によるチェックを受けている人の割合 (65歳以上)	33.0% (H23) ※7	34.9% (H25) ※7	35.8% ☀️ (H26) ※7	0.9ポイント増加 ☀️	36.3%, 現状から10%増を目指す。	
22		※ 歯科医師による定期的なチェック (1年に1回) を受けている人の割合 (20歳以上)	再掲: No.10参照					
23	障害のある人	障害者支援施設及び障害児入所施設での定期的な歯科検診の実施割合	50.0% (H24) ※11	50.0% (H24) ※11	50.0% (H24) ※11		90.0%, 現状値が国と同程度であり、国目標値と一致させる。 (国: 66.9%→90%)	
24	介護が必要な高齢者	介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での定期的な歯科検診の実施割合	18.3% (H24) ※12	18.3% (H24) ※12	18.3% (H24) ※12		50.0%, 現状値が国と同程度であり、国目標値と一致させる。 (国: 19.2%→50%)	
25	社会環境の整備	※ 歯科医師による定期的なチェック (1年に1回) を受けている人の割合 (20歳以上)	再掲: No.10参照					
26		むし歯 (う蝕) の無い3歳児の割合が80%以上である市町村数	再掲: No.3参照					
27		12歳児の平均むし歯 (う蝕) 本数が1本未満である市町村数	再掲: No.7参照					

出典 ※1 母子保健事業報告 ※2 健康づくり推進課・保健予防課調べ ※3 健康づくり推進課調べ ※4 (一社)奈良県歯科医師会調べ ※5 市町村歯科保健事業実施状況調査
 ※6 市町村歯科口腔保健事業実施状況調査 ※7 なら健康長寿基礎調査 ※8 県民健康栄養調査 ※9 歯周疾患検診実績報告 ※10 食育等に関するアンケート調査
 ※11 障害(児)者入所施設における歯科口腔保健状況に関する調査 ※12 高齢者入所施設における歯科口腔保健状況に関する調査

市町村別データ

1. 3. 市町村別 むし歯（う蝕）の無い3歳児の割合 (H25)



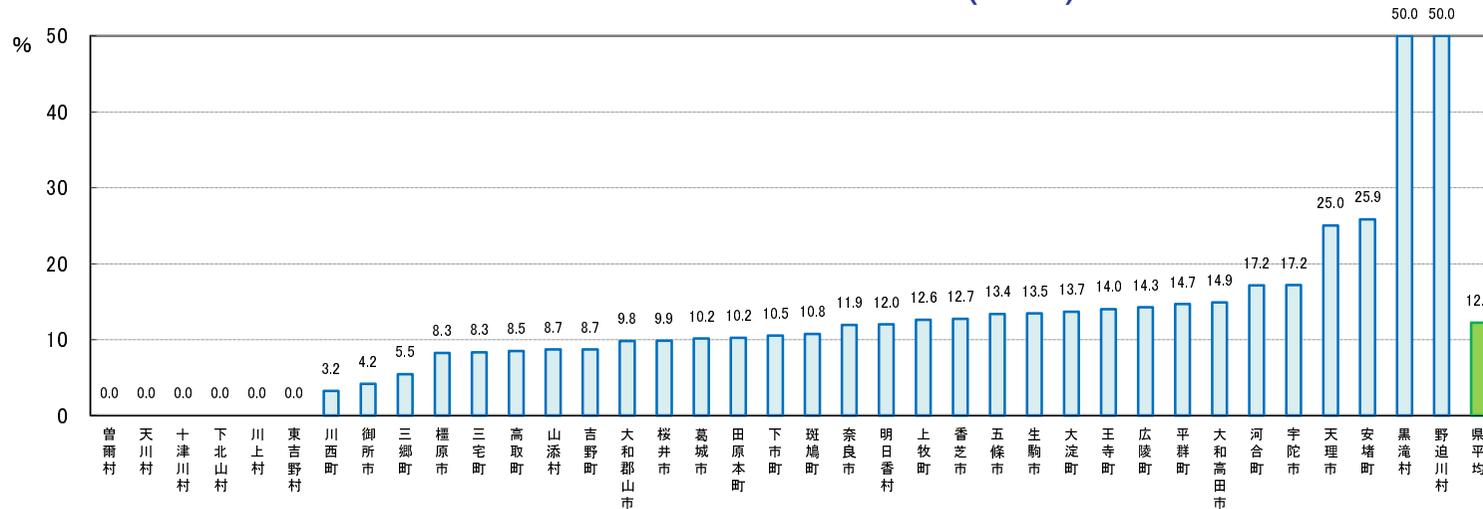
県平均80.2%
目標値90.0%
(H34)

80%以上の市町村数20
目標値21市町村(H34)

出典: 奈良県健康づくり推進課・保健予防課調べ

※ 上北山村は対象となる3歳児が存在しない。
御杖村は受診児数ゼロ。

2. 市町村別 不正咬合等が認められる3歳児の割合 (H25)



県平均12.2%
目標値12.0%
(H34)

出典: 奈良県健康づくり推進課・保健予防課調べ

※ 上北山村は対象となる3歳児が存在しない。
御杖村は受診児数ゼロ。

4. 妊婦に対する歯科口腔保健指導を実施する市町村(H25)

No.	市町村名	実施の有無	事業名称	H25実績		内容			備考
				回数	延人数	歯科健診	個別指導 個別相談	集団指導 (学級、教室)	
1	奈良市	○	はじめてのババママ教室	12	211	○		○	
2	大和郡山市	○	妊産婦歯の相談	72	4		○		
3	生駒市	○	ババママ教室	12	133			○	
4	天理市	○	妊婦歯科健診	26	93	○	○		
5	平群町	○	ファミリークラス	6	32			○	H26から妊婦歯科検診実施
6	三郷町	×							H26から妊婦歯科検診実施
7	斑鳩町	○	歯周疾患検診 ババママスクール	56	56	○			
8	安堵町	○	ファミリークラス	3	14		○	○	
9	山添村	×							
10	橿原市	○	妊婦歯科健診 マザークラス	272	272	○	○		
11	桜井市	○	妊婦歯科健康診査 マタニティ教室	29	88	○			
12	宇陀市	○	たまごクラス	6	37			○	
13	川西町	×							
14	三宅町	×							
15	田原本町	○	歯周疾患検診 マタニティ教室	4	8	○	○		
16	曾爾村	○	妊婦歯科健診	3	18			○	
17	御杖村	○	成人歯科検診	6	6	○	○		
18	高取町	○	いい歯歯(母)教室	0	0	○	○		体制あるが実績ゼロ
19	明日香村	○	妊婦歯科健診	4	10	○	○		
20	大和高田市	○	妊婦歯科健診 ウェルカムベビー教室	5	8	○	○		
21	御所市	×		6	65	○	○	○	2歳児親子歯科健診と同時実施 保健師が担当
22	香芝市	○	妊婦歯科検診	24	172				H26から妊婦歯科検診実施
23	葛城市	○	ペアレッククラブ	4	46	○	○		
24	上牧町	×		4	28			○	
25	王寺町	○	ババママクラス	3	76			○	
26	広陵町	○	名称なし マザークラス	6	9	○	○		妊婦届出時に予約制(1歳6か月児及び3歳児歯科健診 実施日)で歯科健診実施
27	河合町	○	名称なし	6	22			○	
28	五條市	○	妊婦歯科健診 母親教室・両親学級	3	3	○	○		妊婦届出時に歯周疾患検診(20歳以上・無料)の案内
29	吉野町	○	妊婦歯科健診 妊婦歯科健診	11	40	○	○		
30	大淀町	○	マタニティクラス	16	88			○	保健師が担当
31	下市町	×		10	8	○	○		集団方式と個別方式の受診者の合計
32	黒滝村	×		3	1			○	集団方式の受診者が受講
33	天川村	×		3	11			○	H26から妊婦歯科検診実施
34	野迫川村	×							H26から妊婦歯科検診実施
35	十津川村	×							
36	下北山村	○	妊婦歯科健診	3	0	○	○	○	体制あるも実績ゼロ
37	上北山村	×							
38	川上村	×							
39	東吉野村	×							

25市町村

出典: 市町村歯科口腔保健事業実施状況調査

【参考】妊婦歯科検診(H25実績)について

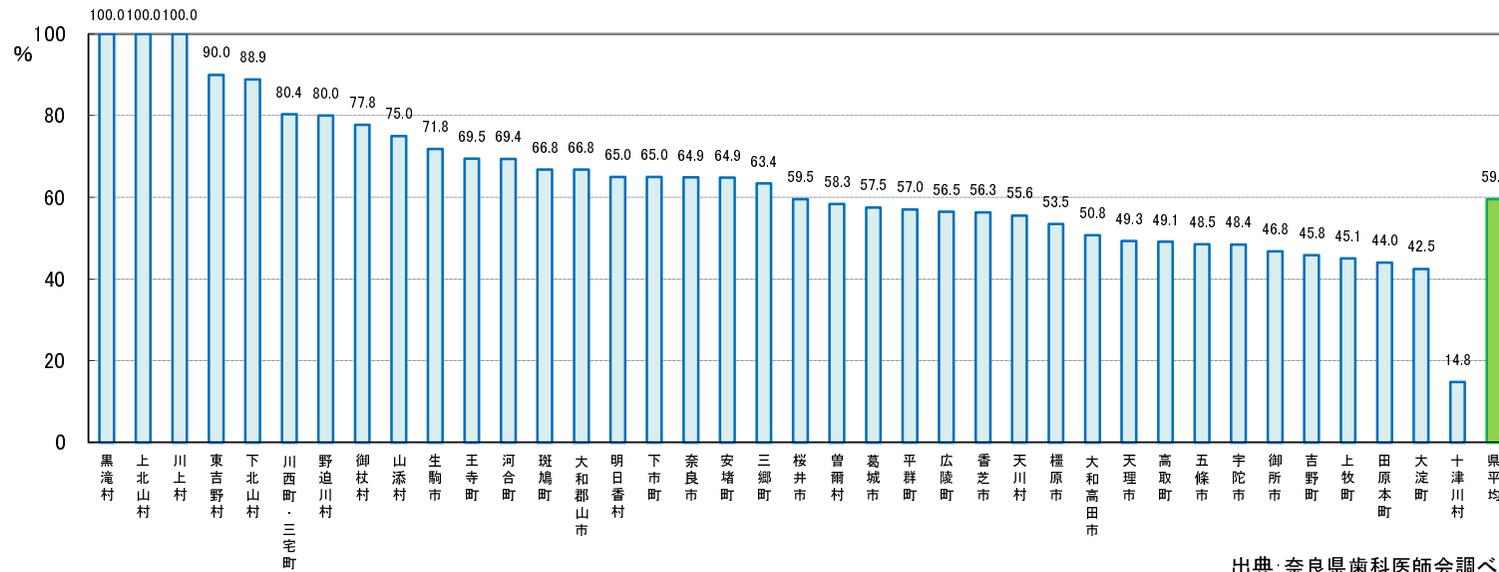
No.	市町村名	実施の有無	方法		実績			備考
			集団	個別	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	
1	奈良市	○	○		2,734	211	7.7	
2	大和郡山市							
3	生駒市							
4	天理市	○		○	623	93	14.9	
5	平群町							
6	三郷町							
7	斑鳩町	○		○	227	56	24.7	
8	安堵町							
9	山添村							
10	橿原市	○		○	1,157	272	23.5	
11	桜井市	○		○	450	88	19.6	
12	宇陀市							
13	川西町							
14	三宅町							
15	田原本町	○	○		252	8	3.2	
16	曾爾村	○		○	11	6	54.5	
17	御杖村	○		○	4	0	0.0	
18	高取町	○	○		39	10	25.6	
19	明日香村	○	○		23	8	34.8	
20	大和高田市	○	○		421	65	15.4	
21	御所市							
22	香芝市	○	○		820	46	5.6	
23	葛城市							
24	上牧町							
25	王寺町							※1
26	広陵町	○	○		334	9	2.7	
27	河合町							※2
28	五條市	○		○	178	40	22.5	
29	吉野町	○	○	○	27	8	29.6	
30	大淀町							
31	下市町							
32	黒滝村							
33	天川村							
34	野迫川村							
35	十津川村							
36	下北山村	○	○		3	0	0.0	
37	上北山村							
38	川上村							
39	東吉野村							
		16	9	8	7,303	920	12.6	

出典: 奈良県健康づくり推進課調べ

※1 30歳以上者を対象に歯周疾患検診実施。H25年度は妊婦としての実績は未把握。(王寺町)

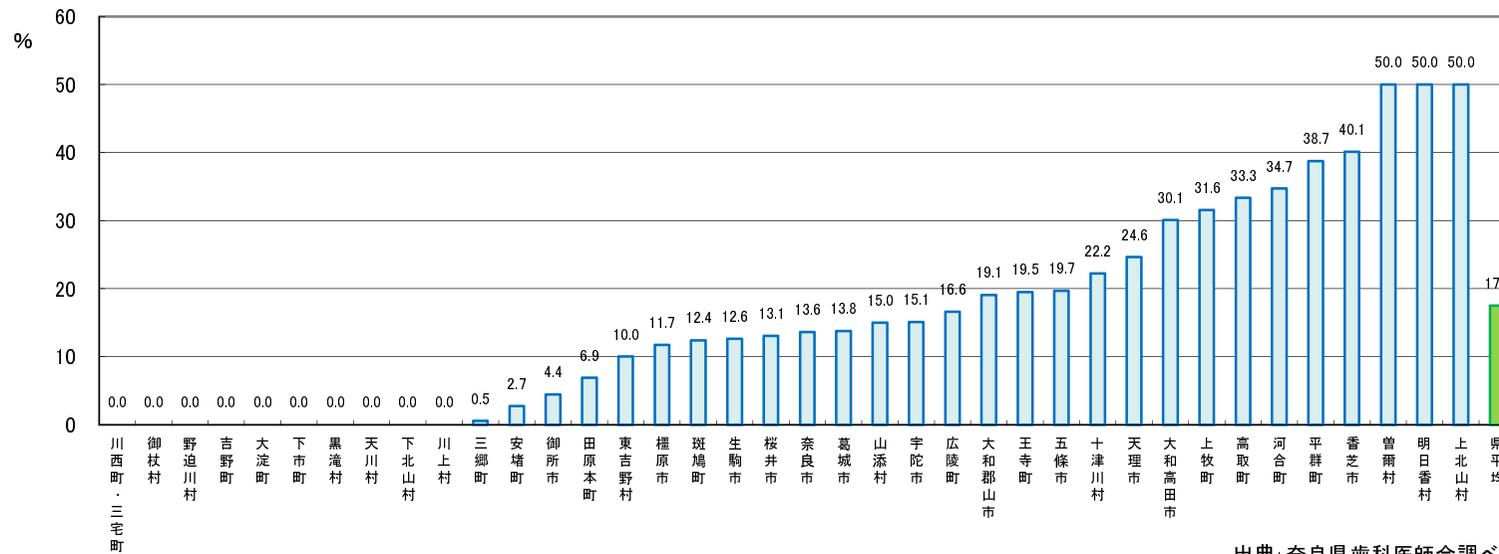
※2 20~50歳者を対象に歯周疾患検診実施。母子健康手帳交付時に説明実施。妊婦としての集計はされていない。(河合町)

5. 市町村別 むし歯（う蝕）の無い12歳児の割合 (H26)



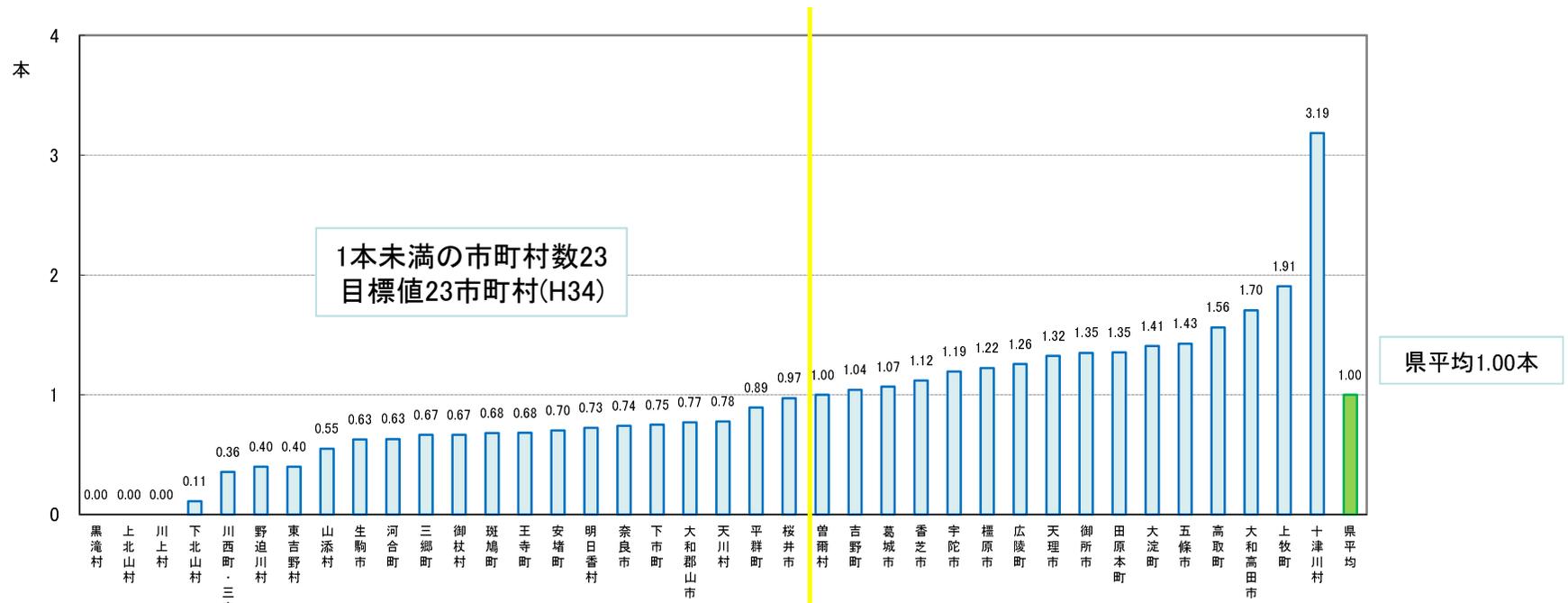
県平均59.6%
目標値65.0%
(H34)

6. 市町村別 12歳児で歯肉に炎症所見がある人の割合 (H26)



県平均17.5%
目標値
今後設定

7. 市町村別 12歳児の平均むし歯本数 (H26)



出典: 奈良県歯科医師会調べ

8. 9. 小学校及び中学校での歯科口腔保健に関する集団指導の実施状況を把握している市町村

(H25)

No.	市町村名	把握の有無		管轄保健所
		小学校	中学校	
1	奈良市			奈良市保健所
2	大和郡山市			郡山保健所
3	生駒市			
4	天理市	○	○	
5	平群町	○		
6	三郷町			
7	斑鳩町	○		
8	安堵町	○		
9	山添村	○		
10	橿原市	○		
11	桜井市			
12	川西町	○		
13	三宅町	○	○	
14	田原本町	○		
15	宇陀市	○		
16	曾爾村	○	○	
17	御杖村			
18	高取町			
19	明日香村	○	○	葛城保健所 (現 中和保健所)
20	大和高田市	○		
21	御所市			
22	香芝市			
23	葛城市			
24	上牧町			
25	王寺町	○		
26	広陵町			
27	河合町			吉野保健所
28	五條市	○		
29	野迫川村			
30	十津川村	○	○	
31	吉野町	○		
32	大淀町			
33	下市町			
34	黒滝村			
35	天川村			
36	下北山村	○	○	
37	上北山村	○	○	
38	川上村	○	○	
39	東吉野村	○	○	

21 9

前年度との比較 (H24 → H25)
 ○ 小学校 (1市町村増:20 → 21)
 3増(天理市、三宅町、宇陀市)
 2減(生駒市、香芝市)
 ○ 中学校 (2市町村増:7 → 9)
 3増(天理市、三宅町、上北山村)
 1減(生駒市)

(H24)

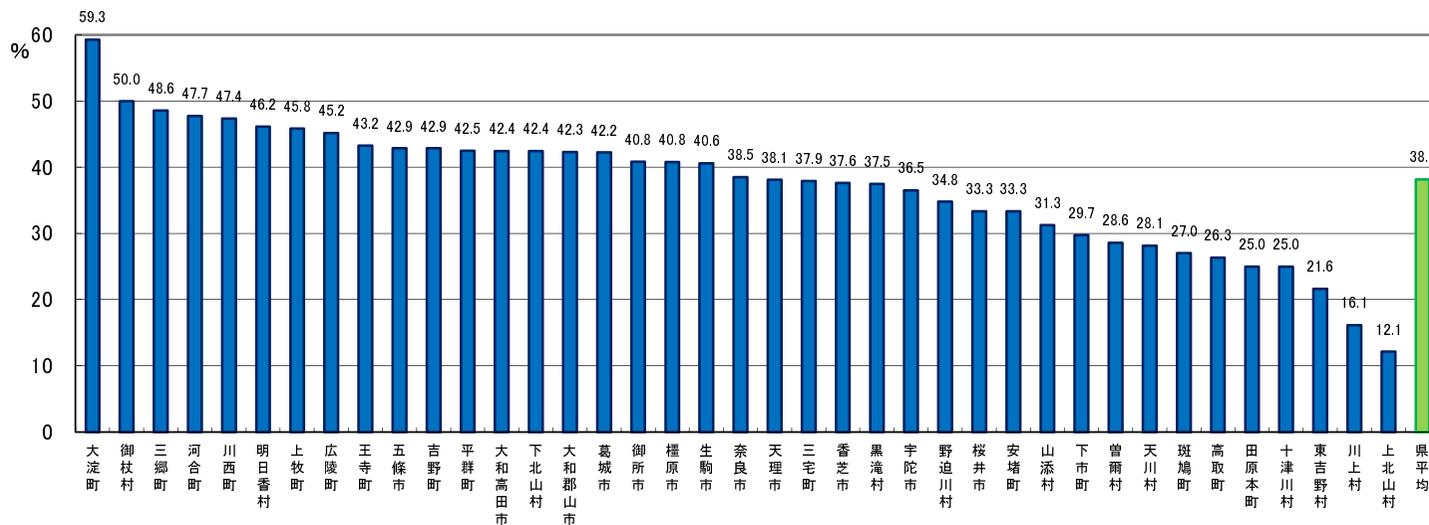
No.	市町村名	把握の有無		管轄保健所
		小学校	中学校	
1	奈良市			奈良市保健所
2	大和郡山市			郡山保健所
3	生駒市	○	○	
4	天理市			
5	平群町	○		
6	三郷町			
7	斑鳩町	○		
8	安堵町	○		
9	山添村	○		
10	橿原市	○		
11	桜井市			
12	川西町	○		
13	三宅町			
14	田原本町	○		
15	宇陀市			
16	曾爾村	○	○	
17	御杖村			
18	高取町			
19	明日香村	○	○	葛城保健所 (現 中和保健所)
20	大和高田市	○		
21	御所市			
22	香芝市	○		
23	葛城市			
24	上牧町			
25	王寺町	○		
26	広陵町			
27	河合町			吉野保健所
28	五條市	○		
29	野迫川村			
30	十津川村	○	○	
31	吉野町	○		
32	大淀町			
33	下市町			
34	黒滝村			
35	天川村			
36	下北山村	○	○	
37	上北山村	○	○	
38	川上村	○	○	
39	東吉野村	○	○	

20 7

前年度との比較 (H23 → H24)
 ○ 小学校 (1市町村増:19 → 20)
 2増(五條市、下北山村)
 1減(三宅町)
 ○ 中学校 (2市町村減:9 → 7)
 2減(吉野町、上北山村)

10. 歯科医師による定期的なチェック（1年に1回）を受けている人の割合（20歳以上）（H26速報値）

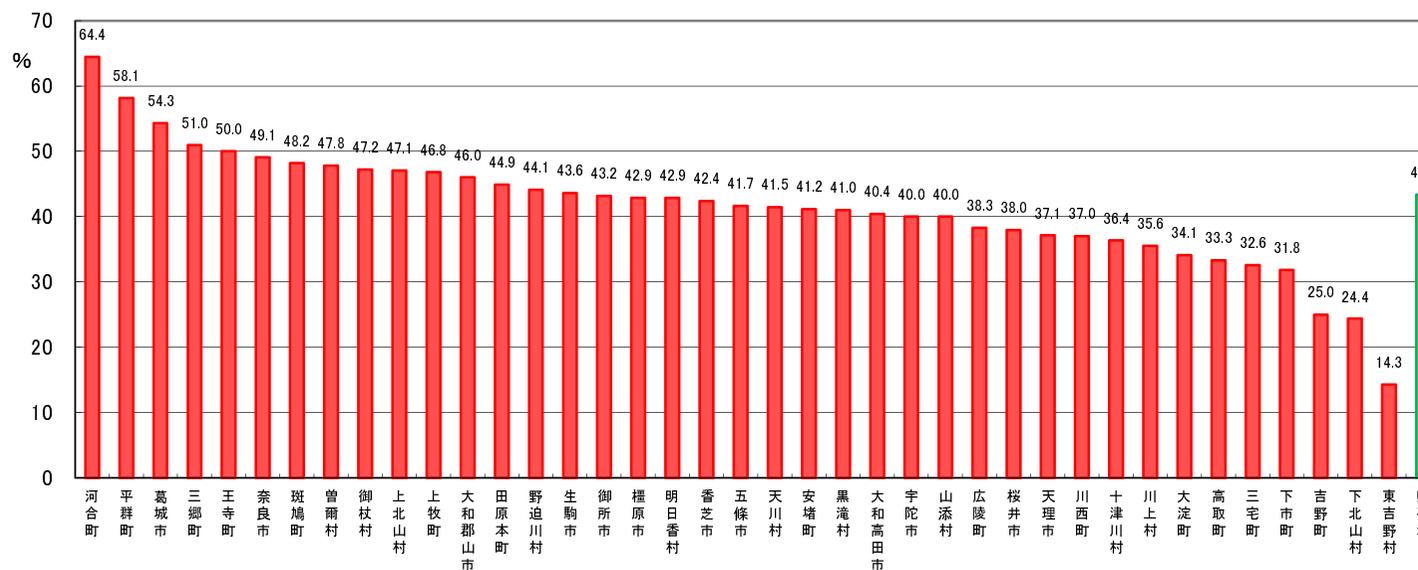
男性



県平均38.2%
目標値50.0%
(H34)

出典: なら健康長寿基礎調査

女性

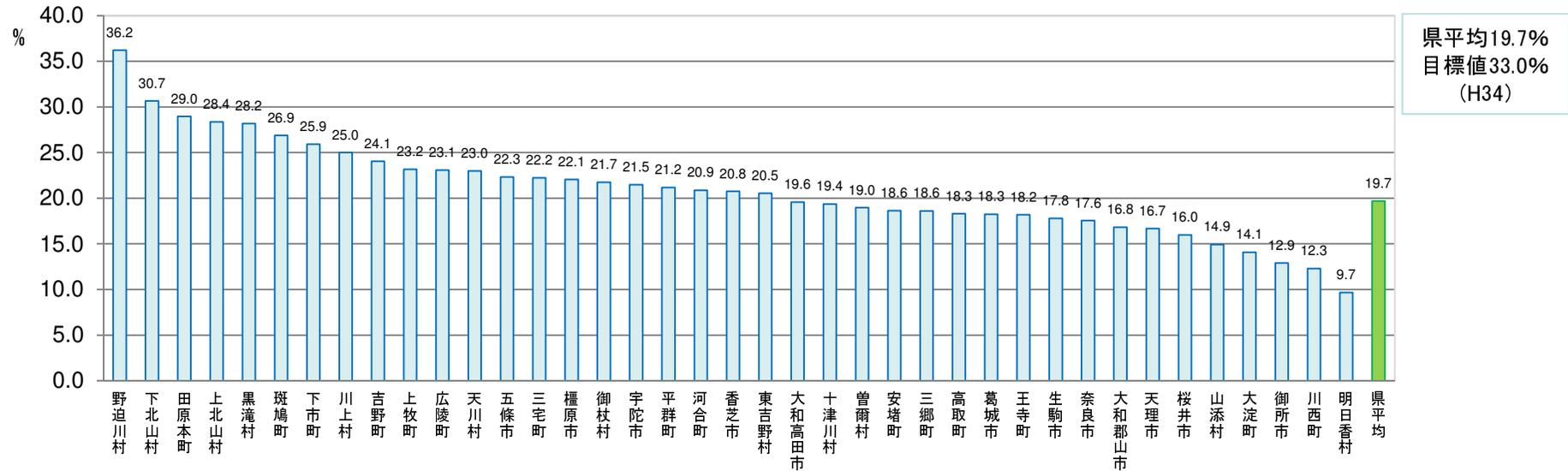


県平均43.4%
目標値50.0%
(H34)

出典: なら健康長寿基礎調査

※ 人口規模の小さい町村は、標本数が少ないため、年度間の数値変動が大きくなることもある。

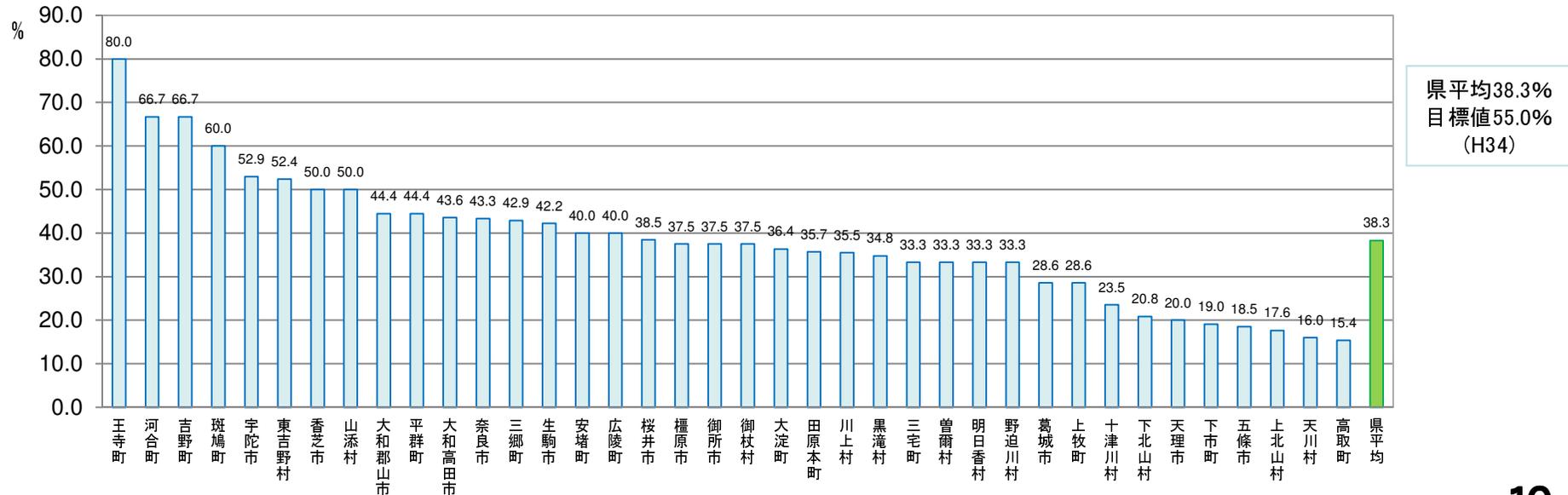
19. 時間をかけてよく噛んで（20～30回）食べる人の割合（H26速報値）



出典: なら健康長寿基礎調査

※ 人口規模の小さい町村は、標本数が少ないため、年度間の数値変動が大きくなることもある。

20. 80歳で20本以上の自分の歯がある人の割合（H26速報値）



出典: なら健康長寿基礎調査

※ 人口規模の小さい町村は、標本数が少ないため、年度間の数値変動が大きくなることもある。